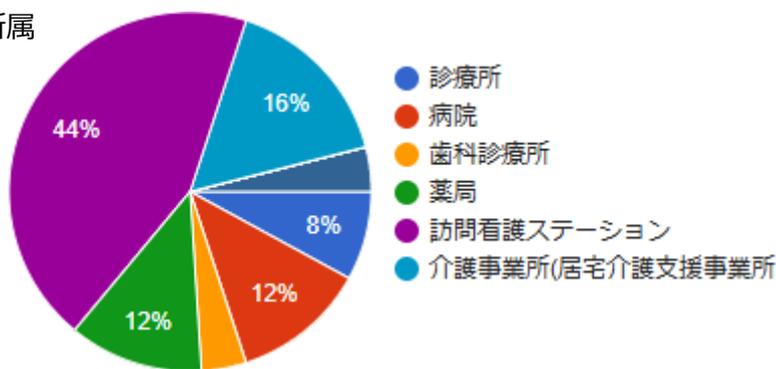


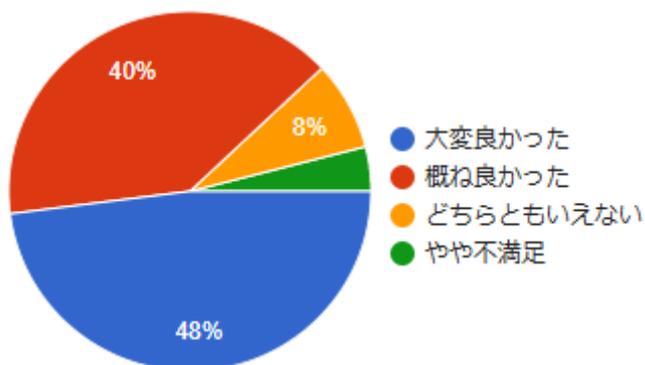
1 職種

看護師/保健師	17
医師	7
薬剤師	6
主マネ・ケアマネ	2
介護福祉士・介護士	2
歯科医師	1
事務職	1
不明	3
合計	39

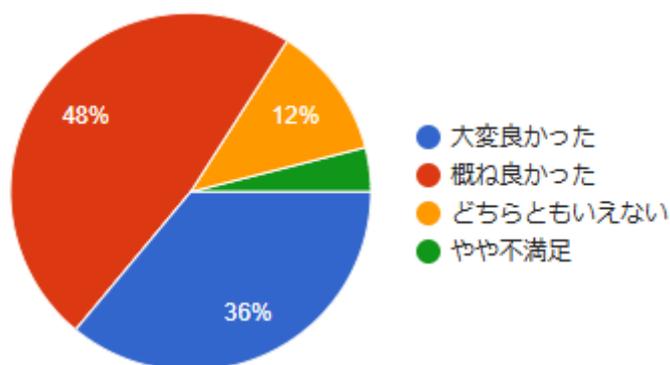
2 所属



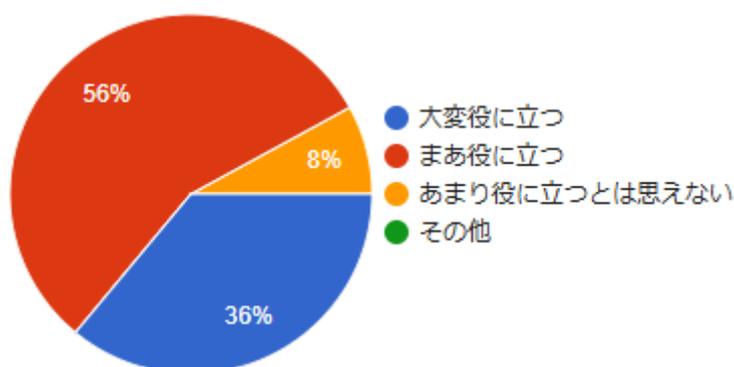
3 青柳先生の講演について



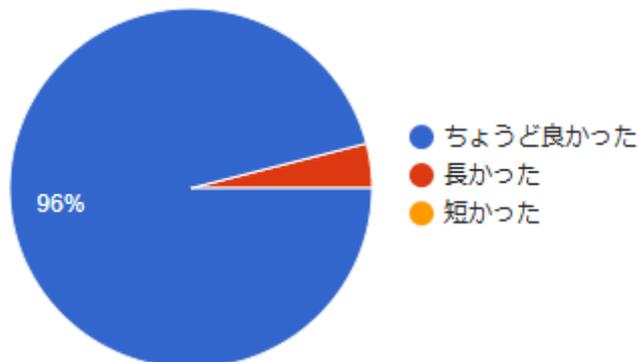
4 ディスカッションについて



5 今後の治療やケアに役立つか



6 研修時間



7 印象に残った言葉や感想

- ・多くの方が参加され、保土ヶ谷区の盛り上がりを感じました
- ・音声が聞こえづらい場面があったので今後改善して頂けると嬉しいです(類似意見3件)
- ・蛋白質の制限をすることばかりが大事な事では無いという事
- ・多職種の協力で在宅医療の患者が多くなるように、長く在宅で過ごせるようにしたいものですね
- ・認知症の方で日中家族不在の中、血糖コントロールの服薬はとても難しい課題だと思います そう言う場合、処方された医師に相談できるととても助かると思いました
 薬剤師の方が、薬に着目して在宅での困り事についてご指摘いただいたのが良かったです 個別で対応は異なりますが、日常での困り事を多職種で共通認識することで、今後の個別相談・対応に生かされると思います
- ・クリニックの先生にも認知症のある人や高齢者が自宅でインスリンや内服治療をすることの大変さを知っていただくひとつの機会になったのではないかと コミュニケーションを図り認識の差を埋めていけると良いと思った
- ・糖尿病患者への対応について、同じような問題点を抱えていたので参考になった
- ・内服薬の管理で食前や分3などが難しい現状を話されていたので、今後も処方仕方を考慮していただけたらと思います
 また、訪問看護からも、現状を伝え一緒に考えることが大切です

- ・症例を提示してくださっていたのでわかりやすかった
- ・このあと患者さんのお家に1件訪問してから帰りますという薬剤師さんの言葉が印象的でした お疲れ様です
- ・腎障害が進んだケースでのたんぱく制限をしすぎるとサルコペニアになり予後が悪くなることのあるとのお話が印象的でした。日々良いとされていることが変わってくるので自己研鑽は大事だと改めて感じた研修でした
- ・以前より看護師や薬剤師の方々との情報共有や相談ができるようになってきたと感じています 今後も多職種連携を意識していきたいと思います。ありがとうございました
- ・2日に一回とか週一回とか日々新しいものが出るようですが、インシュリン注射を打ってからどのように血糖値が変化していくのか知りたいです「効果があるならやるだけだな」とおっしゃってる利用者さんがいらっしまったので
- ・訪問診療に関わっていない医師の在宅に関する知識が殆どないことがびっくりした

病院受診した際に、患者さんは生活の実態をきちんと話すことがなく、薬もきちんと服用していないにも関わらず、また同様の薬を処方してもらい飲まないお薬をたくさん持っていることが多い そのうちに徐々に悪化し入院となり、在宅に戻る際に訪問診療に替わることも多い為、医院やクリニックでは、患者さんの実生活がわからないままの診療が繰り返される 地域の先生方にも、在宅に対する知識を得られる様な講演や研修があると良いとつくづく感じた このことは病院や地域の看護師も同様、学習する機会が必要だと思った